





## 協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会

本協会は1939年（昭和14年）に発足した日本映画美術監督協会を前身とする、映画美術監督の職能集団です。新しい映像美術に対応するため平成10年法人格を持つ協同組合として新発足をしました。映画、テレビはもとより、映画美術のノウハウを活用し、イベント展示展博の分野などにも幅広く対応するなど、協会員の交流、懇親、情報の交換、社会的、地位の向上を目的としています。

### 協会の主な事業内容

- ①美術監督業務の受注斡旋
- ②消耗品の共同購買
- ③団体協約の締結
- ④情報の交換、親睦、事業及び技術の開発検討
- ⑤福利厚生

### 協会の活動、運営

協会は本部を東京に、支部を京都に設置し、協会員より選出された理事による理事会を中心に、協会活動を効果的に実施していくために、それぞれの目的に合わせた各種委員会を設け、活動計画や実施方法を検討し運営に当たっています。

### 主な内部委員会

事業開発委員会  
福利厚生委員会  
広報・出版委員会  
国際交流・渉外委員会  
研修・育成委員会  
技術開発委員会  
美術賞検討委員会

### 他団体との協力

協会は職能の権利、労災などの協会員に関わる問題の解決の為、次の諸団体に加盟、協力して活動しています。

- 1.日本映像職能連合（映職連）  
監督、美術、撮影、照明、録音、編集、  
スクリプター、シナリオ作家の8団体
- 2.著作権団体協議会（関連27団体）
- 3.芸能関連労災問題連絡会（労災連）  
映職連、日俳連、共闘会議、芸団協
- 4.三団体連絡会  
映職連、日俳連、共闘会議
- 5.日本映像美術協議会(JVA)

### 協会に入会すると

- 研修員の推薦  
文化庁が派遣する「芸術家在外派遣研修員」(海外)及び「芸術インターシッブ研修員」(国内)の推薦をいたします。
- 日本アカデミー賞協会への入会  
希望者は協会推薦で入会できます。
- 映画館割引入館証の交付  
協会が交付する「映像三団体連絡会会員証」により、全興連加盟の映画館に一律1,000円で入場できます。
- 映画手帳無料交付（会員名簿付）  
毎年12月に発行される「映画手帳」には映職連加盟団体会員、製作プロダクション、映像関連会社、団体、教育機関などの名簿、連絡先が記載されています。
- 芸能人国保への加入  
協会員は芸能人国保(健康保険)に加入できます。
- 団体保険への加入  
協会が加入している全労済団体保険により災害、死亡保険の対象になります。